

国立大学法人兵庫教育大学

学 報

第304号 平成19年10月



附属中学校体育祭（関連記事 4 ページ）



附属小学校うれしのカーニバル（関連記事 5 ページ）

目 次

- ◇学 事2
 - ・平成20年度大学院学校教育研究科修士課程入学者選抜試験（前期）合格者状況
 - ・寄附金
 - ・受託研究
- ◇人 事3
 - ・人事異動
- ◇諸 報4
 - ・国立大学法人兵庫教育大学役員会
 - ・兵庫教育大学教育研究評議会
 - ・兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授会
 - ・兵庫教育大学学校教育学部教授会
 - ・連合学校教育学研究科代議委員会
 - ・連合学校教育学研究科教授会

- ・ひょうごオープンカレッジ「東播磨の風土を歩く」の開講
- ・附属小学校4年生自然学校の実施
- ・附属幼稚園わくわくキャンプの実施
- ・附属中学校体育祭の実施
- ・不登校児童生徒支援に関するネットワーク会議の開催
- ・不登校児童生徒支援に関するネットワーク会議リレー講座の開講
- ・附属小学校うれしのカーニバルの実施

<お知らせ>

- ・公開研究授業の開催
- ・第26回大学祭「嬉望祭」の開催

○お祝いのことば 山本廣一 加東市長

- ◇主要日誌9

— 学 事 —

平成20年度大学院学校教育研究科修士課程入学者選抜試験（前期）合格者状況

平成20年度大学院学校教育研究科修士課程入学者選抜試験（前期）を8月18日（土）及び8月19日（日）に実施し、9月7日（金）に合格者を発表した。

専攻・コース別の合格者数等は次のとおりである。

専 攻 ・ コ ー ス 等		募集人員	応募者数	受験者数	合格者数	
		人	人	人	人	
学校教育学 専 攻	教育コミュニケーションコース	昼間クラス	8	11 (3)	11 (3)	※ 12 (3)
		夜間クラス	若干人	2 (2)	2 (2)	2 (2)
	幼年教育コース	昼間クラス	8	2	1	1
		夜間クラス	若干人	4 (1)	4 (1)	4 (1)
	学校心理学コース	昼間クラス	15	17 (10)	17 (10)	15 (10)
	臨床心理学コース	昼間クラス	25	87 (6)	82 (6)	41 (6)
特別支援 教育学専攻	心身障害コース		18	25 (7)	23 (7)	※ 24 (7)
	特別支援教育コーディネーターコース		8	9 (9)	9 (9)	9 (9)
教科・領域 教育学専攻	言語系コース	昼間クラス	18	20 (13)	20 (13)	18 (13)
		夜間クラス	若干人	2 (1)	2 (1)	2 (1)
	社会系コース	昼間クラス	16	16 (9)	16 (9)	16 (9)
		夜間クラス	若干人	0	0	0
	自然系コース	昼間クラス	13	25 (6)	24 (6)	22 (6)
		夜間クラス	若干人	3	3	3
	芸術系コース	昼間クラス	15	12 (4)	11 (4)	11 (4)
		夜間クラス	若干人	4	4	4
	生活・健康・総合内容系コース	昼間クラス	16	17 (8)	17 (8)	14 (8)
		夜間クラス	若干人	6 (3)	6 (3)	5 (2)
合 計		160	262 (82)	252 (82)	203 (81)	

(注) 1 志願者数及び受験者数は第1志望者によるものを示し、※印を付した合格者数は第2志望によるものを含む。

2 () 内の数は、3年以上の教職経験を有する現職教員（同意書なしを含む。）を内数で示す。

○寄附金

寄附申込者	研究担当者	寄附の目的	金額（円）
兵庫教育大学附属中学校育友会 会長 宮本博文		附属中学校の教育研究の振興・充実等のため	2,000,000

○受託研究

委託者名	研究題目	研究期間	研究担当者	研究に要する経費（円）
株式会社教育測定研究所 代表取締役 高村淳一	英文自動採点補助システム開発	平成19年9月 ～ 平成20年3月	自然・生活教育学系 助教 永田亮	4,000,000
独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ大阪 館長 村井眞二	インクジェットプリンター用 フォトクロミック色素の開発	平成19年9月 ～ 平成20年3月	自然・生活教育学系 准教授 山口忠承	2,000,000

— 人 事 —

○人事異動

(大学院等)

年月日	発令事項	新職名等	氏名	旧職名等
19. 9. 30	任期満了		工藤 昌孝	講師（臨床・健康教育学系）
19. 10. 1	昇任	准教授（臨床・健康教育学系）	高野美由紀	講師（臨床・健康教育学系）
19. 10. 1	採用	教育実践ラボ・バージョン/連携推進研究員	丸山 隆義	

— 諸 報 —

○国立大学法人兵庫教育大学役員会

第7回 平成19年9月4日(火)

○兵庫教育大学教育研究評議会

第6回 平成19年9月4日(火)

(議題)

- 1 平成20年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験〔後期選抜〕の学生募集人員について
- 2 教員の選考について
- 3 教員の選考開始等について
- 4 中期目標期間の業務実績評価に係る教育研究の状況評価について
- 5 受託研究の受入れについて

○兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授会

第6回 平成19年9月4日(火)

(議題)

- 1 平成20年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験<前期選抜>の合否判定, 理数系教員養成特別プログラム受講許可及び長期履修学生の許可について
- 2 平成20年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験〔後期選抜〕の学生募集人員について
- 3 教員候補者についての意見の取りまとめについて
- 4 中期目標期間の業務実績評価に係る教育研究の状況評価について
- 5 平成19年度前期末修了認定について
- 6 理数系教員養成特別プログラムに関する取扱要項の制定等について
- 7 平成19年度授業科目の追加開講について
- 8 平成19年度授業科目担当教員の変更等について
- 9 学籍異動について
- 10 大学院学校教育研究科科目等履修生の入学について
- 11 研究生の研究期間延長について
- 12 平成19年度国費外国人留学生(教員研修留学生)の受入れの追加について

○兵庫教育大学学校教育学部教授会

第5回 平成19年9月4日(火)

(議題)

- 1 平成19年度前期末卒業認定について
- 2 平成19年度授業科目担当教員の変更等について
- 3 学校教育学部科目等履修生の入学について

○連合学校教育学研究科代議委員会

第3回 平成19年9月5日(水)

(議題)

- 1 研究科教員の認定について
- 2 連合研究科将来構想の今後の検討事項について
- 3 論文提出による博士の学位申請資格審査会の設置について
- 4 論文提出による博士の学位論文審査に関する連合講座の関与について
- 5 平成20年度学生募集要項について
- 6 研究科研究生の入学について

○連合学校教育学研究科教授会

第3回 平成19年9月5日(水)

(議題)

- 1 課程修了による博士の学位授与の可否及び修了の認定について
- 2 論文提出による博士の学位授与の可否について
- 3 代議委員会の審議経過について

○ひょうごオープンカレッジ「東播磨の風土を歩く」の開講

9月1日(土)から9月29日(土)の毎土曜日に、ひょうごオープンカレッジを開講した。

ひょうごオープンカレッジは、県内の8大学とひょうご大学連携事業推進機構が共同で実施する社会人向け専門講座である。

本学は「東播磨の風土を歩く」をテーマに、加古川流域を中心とした東播磨地域の地理、歴史、文学等について学習する講座を計画し27名の参加があった。講座では、社会・言語教育学系の河村教授を中心とした講師陣の講義に加え、実際に現地を訪問する臨地学習を取り入れ、東播磨の風土を実感できる充実したものとなった。最終日の交流会では、講師陣と受講生が和やかに語り合うなど、好評のうちに終了した。



○附属小学校4年生自然学校の実施

9月3日(月)～4日(火)の1泊2日の日程で、4年生が兵庫県立嬉野台生涯教育センターにおいて、自然学校を実施した。この自然学校は、附属小学校の体験活動の1つで、5年生の林間学校、6年生での臨海合宿と共に他では見られない特徴的な行事である。今年は、場所を南但馬自然学校から変更しての実施であった。1日目の最初のプログラムは残暑が厳しい中、初めての野外炊火に挑戦した。また、キャンプファイヤーでは、クラス毎の出し物に歌ったり踊ったり楽しいひとときを過ごした。2日目は真夏を思わせる天候のもと、アーチェリーやカヌーなどの体験をし、子ども達は初めての宿泊体験を終え、たくましくなって学校へ戻ってきた。また、自然学校での経験を生かし、カーニバル・附小っ子コンサート・耐寒訓練と続く行事を仲間と支え合いながらやり抜くことを決意した。



○附属幼稚園わくわくキャンプの実施

9月6日(木)～7日(金)、園内において5歳児がわくわくキャンプ(宿泊保育)を実施した。当日を迎えるまで不安を抱いていた子どもも、保護者からの温かい励ましと、笑顔での見送りのおかげで元気いっぱい参加した。

「自分たちでできることは、自分たちでしょう」「周りの人に感謝する気持ちをもつことを忘れないようにしよう」ということを大切にしながら、食事やキャンドルサービスの準備、布団敷きを自分の力でや

り遂げた。また、タマネギを使った染めもの遊びやキャンドルサービス、シャワー、就寝などを友達と一緒に経験し、この1泊2日のキャンプは子どもたちにとって楽しい思い出になるとともに、心も身体も成長させる良い経験となった。

今後も幼稚園と家庭が手を携えながら、子どもたちが一段と成長できるような経験を積み重ねていきたい。



○附属中学校体育祭の実施

9月15日（土）「結束で築く信頼関係」のテーマのもと、第26回附属中学校体育祭を開催した。「生徒主体の体育祭」を掲げ、本年度で4年目を迎えた。6月に体育祭実行委員会を発足し、全校生の意見を聞きながらテーマを決定し、運営方針や新しい試みなどについて企画を行った。

さらに本年度は応援合戦でのダンスのための講習会を開き、演技の向上を求めるとともに教師の指示を減らした。その結果、生徒会体育部を中心に質の向上を図った練習ができるようになり、全員参加を目標に実施することができた。当日はテーマの具現化ができ、多くの生徒が達成感と充実感、連帯感を得ることができた。

○不登校児童生徒支援に関するネットワーク会議の開催

9月18日（火）、兵庫県私学会館において、不登校児童生徒支援に関するネットワーク会議を開催した。この会議は、平成17年度に採択された現代的教育ニーズ取組支援プログラム「学生参加による不登校支援ネットワーク構築」事業の一環として開催しており、今回が第4回目である。

当日は、ネットワーク構築に参加している教育委員会、学校法人、財団及びNPO法人等の不登校児童生徒の支援・教育を行っている施設・組織・団体の代表者16名と本学教職員及び学生21名が出席して行われ、このプロジェクトの総責任者である勝野副学長から挨拶が行われた後、施設等と学生派遣の調整を行っているコーディネーターを代表して、石井チーフコーディネーターから、今年度の計画の説明及び活動報告が行われた。引き続き、サブプロジェクトリーダーの松本准教授の司会で、「学生参加による支援の充実について」をテーマに活動実績のある学生から意見発表が行われ、今後の支援活動の充実に向けて意見交換が行われた。



○不登校児童生徒支援に関するネットワーク会議 リレー講座の開講

9月18日（火）、兵庫県私学会館において、不登校児童生徒支援に関するネットワーク会議リレー講座（第4回）を開催し、ネットワーク参加団体の代表者、学生、教職員及び一般参加者約90名が参加した。

リレー講座は、現代的教育ニーズ取組支援プログラム「不登校児童生徒支援に関するネットワーク構築」に参加している参加団体との定期的な勉強や交流の機会を設け、ネットワーク構築を推進することを目的としている。

第4回は「発達障害からみた不登校－発達障害と現場の課題－」というテーマで開講され、始めに本学臨床・健康教育系の藤田教授から、「発達障害の視点からみる不登校とその配慮」をテーマに基調講話が行われた。引き続き、兵庫県教育委員会の片山則昭特別支援教育課長をコーディネーターとして講師を交えての座談会が行われ、参加者からの質疑・意見に対し藤田教授から適切なアドバイスが行われ、盛況の内に幕を閉じた。



○附属小学校うれしのカーニバルの実施

9月29日（土）、「限界こえて感じよう真の達成感」のもと、「第22回うれしのカーニバル」を実施した。

附属小学校のカーニバルは、身体的な表現を中核とした総合学習（集団表現領域）の発表の場として、また、綱引きやリレー等のスポーツに全校で1日親しむ場として位置付けられている。

ミュージカルの発表は、1年生「あさがおいっぱい、あさがおいっぱい」、2年生「クルリンパで大へんしん」、赤組「赤と黒二つの紅山～封印された紅山の炎～」、黄組「聖虎～現身（うつせみ）の巻～」、青組「二つの国の精珠伝説」という題名のもと、身体、音楽、言語、造形が一体となった表現にどの子も精一杯取り組んだ。また、リレー、綱引き、玉入れ、大玉運び等の色別の対抗種目では、どの競技も接戦となった。その結果、本年度は黄組が熱い戦いを制した。

終了後の子どもの表情は、やりきった満足感と表現しきった充実感であふれ、本年度のテーマどおり、力を出し合って精一杯競い合い、互いを認め合う中に、一人ひとりが喜びを感じられるカーニバルとなった。

<お知らせ>

公開研究授業

—教職大学院のめざす授業とは—

兵庫教育大学では、大学院での現職教員を対象とした実践的な教育・研究の実績と、現職教員研修プログラムの開発・実施による教育委員会や学校との連携協力の実績を基に、早くから教育分野の専門職大学院「教職大学院」の設置準備を進めてきました。今年度から、教職大学院に先行して設置した学校指導職専攻と教育実践高度化専攻のこれまでの実績を研究授業として公開。両専攻の授業方法を実地に紹介し、その特色と効果について検証します。研究授業の後は梶田叡一学長が講演。教員養成や研修の在り方、教員免許更新制や次期学習指導要領の内容など教育改革の動向を紹介いたします。

開催日：11月3日（土）（祝）

時間：10：00～16：00

場所：神戸市総合教育センター

（JR神戸駅から徒歩約7分）

プログラム：

9：30…受付

10：00～11：50…公開研究授業，研究会Ⅰ

11：50～13：00…休憩

13：00～14：50…公開研究授業，研究会Ⅱ

15：00～16：00…全体会

講演会「教育改革の現段階と教師の力量形成
の課題～今、教師が問われている～」

講師：梶田叡一学長

16：30～18：00…情報交換会



<お知らせ>

— 第26回大学祭「嬉望祭」の開催 —

地域交流を目的にし、大学院生や外国人留学生及び教職員，さらに他大学，小・中・高校の方々との交流の場となることを目指し，「人と人との“和”がより一層深く広くなる」という思いを込めて，大学祭を開催します。

テーマ：“和”

開催日：11月17日（土），18日（日）

場所：兵庫教育大学

～お祝いのことば～

「結実の季節へ向けて」

加東市長 山本 廣一



人と人との“和”をテーマにした第26回兵教大学院祭「嬉望祭」の開催を心からお祝い申し上げます。

「青春は単なる人生の花盛りではなく，来るべき結実の秋への準備の季節である」。歴史家の竹越与三郎は，青年期をそう評しています。

活気あふれるキャンパスでは，希望に満ちた将来を夢見て，勉学やスポーツ，文化活動など様々な分野で躍動する若い力を感じます。学び，経験を積み重ね，自らを高める充実した学園生活の中で，未来を担う無限の才能が培われています。

今年も嬉野の地をはじめ，ふるさとの野山には豊かな実りがありました。まちづくりにおいても，大学の持つ英知や学生の持つ才能，可能性を得て，加東市もまた大きく伸び行こうとしています。

嬉望祭が学生のみなさんにとって有意義なものであり，仲間や地域の人々とともに作り上げ，ひとつのことを成し得たという大きな自信が，やがて来る人生の大きな実りへの貴重な糧となることを願い，お祝いのことばといたします。

— 9 月 主 要 日 誌 —

月 日	事 項
9月1日(土)	ひょうごオープンカレッジ「東播磨の風土を歩く」(第1回) 公開講座「楽しくてうまくなるテニス教室」
3日(月)	附属小学校・中学校・幼稚園第2学期始業式 附属小学校4年生自然学校(～4日) 教務委員会(第6回)
4日(火)	役員会(第7回) 教育研究評議会(第6回) 研究科教授会(第6回) 学部教授会(第5回)
5日(水)	国際交流委員会 学術交流・国際協力専門部会(第5回) 連合学校教育学研究科代議委員会(第3回) 連合学校教育学研究科教授会(第3回) 社会連携委員会(第2回)
6日(木)	附属幼稚園わくわくキャンプ(～7日) 「兵庫教育大学三十年史」執筆説明会
7日(金)	平成20年度大学院入学者選抜試験(前期)合格者発表 発明審査委員会(第2回)
8日(土)	教員研修評価・改善システム開発事業研究開発委員会(第1回) ひょうごオープンカレッジ「東播磨の風土を歩く」(第2回)
11日(火)	遺伝子組換え生物等取扱安全委員会(第2回)
13日(木)	兵庫教育大学三十年史編集協力者会議
15日(土)	附属中学校体育祭 ひょうごオープンカレッジ「東播磨の風土を歩く」(第3回) 公開講座「楽しくてうまくなるテニス教室」 公開講座「ピアノを弾こう！」 公開講座「ガムランはともだち」
18日(火)	不登校児童生徒支援に関するネットワーク会議(第4回)及びリレー講座(第4回)
19日(水)	大学院入学試験委員会(第5回)
22日(土)	ひょうごオープンカレッジ「東播磨の風土を歩く」(第4回) 公開講座「楽しくてうまくなるテニス教室」

公開講座「ピアノを弾こう！」
公開講座「ガムランはともだち」



26日(水) 評価委員会(第3回)
連合学校教育学研究科前期修了者、論文提出による博士の学位記授与式

29日(土) 附属小学校うれしのカーニバル
平成19年度兵庫教育大学免許法認定公開講座「障害児指導法」(～30日)
ひょうごオープンカレッジ「東播磨の風土を歩く」(第5回)
公開講座「楽しくてうまくなるテニス教室」
公開講座「ガムランはともだち」

編集発行 **兵庫教育大学総務部企画課**

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

電話 (0795) 44-2334

<http://www.hyogo-u.ac.jp/>